

# 生活再建及び放射線の健康不安についての町民の声

- ①準備宿泊者の声
- ②生活支援相談員及び仮設住宅連絡員等が聞き取った町民の声
- ③いわき市内仮設住宅者の声

# ①準備宿泊者の声

## 訪問結果

- 平成27年4月20日～7月17日 保健師及び看護師が戸別訪問
- 準備宿泊登録数 約480世帯 645人
- 訪問件数 154世帯
  - (内訳) 不在件数 93世帯
  - 面接件数 61世帯
- (内訳) 宿泊登録 45世帯 その他 16世帯



## 訪問して感じたこと

- 避難生活の中で、時間の経過に伴い、住民の抱える問題は、様々に変化した。
  - 帰町する人、しない人との間に生じた心の断絶感や取り残され感の顕在化
- 多くの方が、情報の信憑性に対する根強い不信感を募らせ、今後の生活の見通しの不確かさから不安の言葉に表している。信頼や安心感を得ることの困難さはあるが、一人一人の思いを丁寧に聞くことが大切であり、長期的な寄り添いが必要と思われる。

## 1. 除染の問題

- 自分でできる限りの除染はした。
- 広い屋敷の除染が進んでいない。
- 隣家が除染をしていない。町からも働きかけてほしい。
- 低線量被ばくに対しては、**不安や疑問があるのに**、“安心な場所ですから、帰町しても大丈夫です”と言われても**納得できない**。



- 除染に**不満**。



## 2. 食品、水の問題

- 畑で作った野菜の検査をしてもらった。
  - 山菜は取って食べた。食べたかったし少しは気になるが、ちょっとくらいは大丈夫だと思った。
  - 自宅で野菜を作って検査をして食べている。少しずつ食べるのなら問題はないと思っている。
  - 水は、いわきから運んでいるが、大変なので家の蛇口からの検査をしてもらうことにしている。
  - 飲料水や調理に使う水は、いわきから持ってくる。
  - 水は飲む気になれない。数値は聞いて頭ではわかっているが**気持ちがついてこない**。
  - 木戸ダムの底にはセシウムがあると聞くと、**安全とは思えない**。
  - 作業員の宿泊を受け入れているが、気にするのではないかと考え、ウォーターサーバーを設置している。調理に使うのは水道水。
- ## 3. その他
- 檜葉の自宅にいと、孫たちと暮らしていた日々を思い出し辛くなる
  - 震災前の楽しかった生活を思い出す

## ②生活支援相談員及び仮設住宅連絡員等が聞き取った町民の声

日頃、いわき市内及び会津地方に居住している町民の見守りや相談をしている仮設住宅連絡員及び生活支援相談員、民生児童員の支援者のための研修会の際、住民の不安等についての声を整理した。

### 支援者のための研修会開催

- 日 時:平成27年7月30日
- 参加者:仮設住宅連絡 15名  
生活支援相談員 11名  
民生児童委員 7名
- 内 容:「町民の抱えている不安を見える化する」



第1回支援者のための研修会H27.7.30

### 飲み水の不安が大きい

- 檜葉町へ帰町するが水が一番心配している。
- 水の件が一番の不安。
- 本当に檜葉の水は大丈夫なの？
- 檜葉町の水道水は飲んでも大丈夫なのか不安。
- 檜葉の水道水飲めるの？
- 野菜(畑)の作物を、人に差し上げたりできるか？
- 木戸ダム飲めない。
- 檜葉町の放射線について帰りたいけど怖い。

### 精神的ストレス

- 檜葉出身を隠さないと働けない、居れない。
- 避難者同士のトラブル。
- 近所に檜葉町民であることを内緒にしている。
- いわきの会社に就職。檜葉町民であることを隠す。
- 訪問をしないでほしい。避難者であることを知られたくない。(保護者から)
- 子どもが今の生活になじんでいるので、戻らないことに決めている。

## 帰町について

- 帰りたい。でも隣組の人はだれも帰らない。生活できない。
- 夜、隣の人がいなくて心細い
- 帰っても周りがいなくてさみしい思いをするかもしれない
- 高齢で一人暮らしなので、檜葉に戻っても近所の人に戻ってこないと不安
- 今は仮設で周りにいる人が町に帰れば隣が遠く、一人暮らしなので不安だ
- 自分達(親世帯)は帰りたいが若い世帯が帰らない
- 自分は帰町したいが家族は帰らない
- 家族がバラバラ
- ひとり暮らしなので今のままここにいる。先のことはわからない。
- 町に戻っても、前のように孫、子と一緒に暮らしたいができないので涙が出る毎日
- 家を建て直しても、子どもたちがはいってくれない
- 9月になったら帰る。息子はいる。(運転できない老夫婦)
- 私は帰りたいと思っているが若い人達が帰らないので我慢するしかない
- 帰町してからの生活への不安(買い物、病院、交通、介護支援)
- 今が便利だから帰りたくない
- 借り上げがあるうちは、いわきにいるけどそれ以降は未定
- 檜葉に帰るか、いわきに家をもつか迷っている
- なるべくなら帰りたいけど一人で帰るのは不安
- 早く檜葉に帰りたい。狭い所にはいたくない。畑を耕したい。
- 若夫婦との帰町に対する考えの違い
- 時間が経ち過ぎたので、帰町する思いが薄れてきた。(コミュニティ、利便さなど)
- 家に帰りたいが自分では何もできない

## 医療等の整備

- 帰りたいが医療、福祉まだ整っていないので思案中
- 若い人たちと別々に生活しているので、今後どうしていいかわからない
- 帰町したいが体調不良が続き、医療体制が十分でない  
と難しいです

## 町の治安

- 作業員が多く不安
- 檜葉町の治安
- 町の治安が心配



第2回支援者のための研修会H27.8.31

### ③いわき市内仮設住宅者の声

目的:生活支援相談員や仮設住宅連絡員が、戸別訪問による、傾聴、相談活動を通じて、町民の放射線や生活再建に関する悩みや不安を引き出し、専門家や関係機関に適切に繋ぎ、課題解決にきめ細かに対応していく。

#### 実施方法及び結果

○日 時:平成27年5月～7月

○内 容:個別記録票を作成し、主に住まい放射線への不安について聞き取り対応

○個別記録票のまとめ

いわき市内仮設住宅

1,085世帯中505世帯 (46.5%)

\*60代以上の回答率が505件中391件(77.4%)

問 現在、ご自宅の再建はどのような状況ですか？

項目	人数	割合
①修繕済／建替え済 (住める状況になっている)	63	12.5%
②修繕中／修繕待ち	141	27.9%
③解体済(更地)	26	5.1%
④解体中／解体待ち	99	19.6%
⑤建替え中／建替え待ち	5	1.0%
⑥何もしていない(放置)	86	17.0%
⑦津波被災を受け何も処置できない	6	1.2%
⑧不明	16	3.2%
⑨その他	45	8.9%
無回答	18	3.6%

問 将来、ご自宅はどうされる予定ですか？

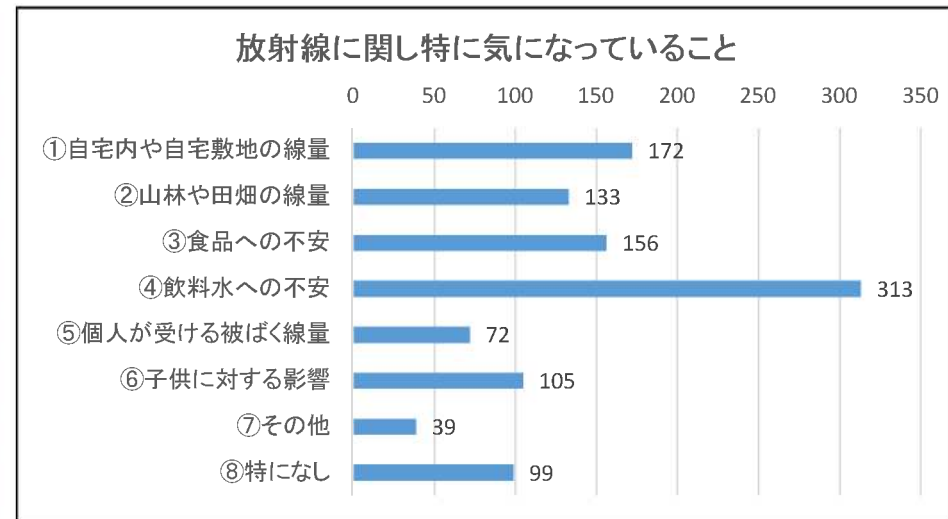
項目	人数	割合
①自分や家族が住む	256	46.5%
②親戚や他人に貸す／売却する	5	0.9%
③とりあえず解体して更地にする(当面、新築の予定はない)	31	5.6%
④当面は何もしない(放置)	19	3.3%
⑤自宅への帰還をあきらめ、移住する(町内)	18	3.3%
⑤自宅への帰還をあきらめ、移住する(町外)	26	4.7%
⑥未定	97	17.6%
⑦その他	91	16.5%
無回答	7	1.3%

問 住まいの再建に関連してお困りのことはありますか？

項目	人数	割合
①自宅の修繕・建替えをどのように進めれば良いかわからない	17	3.2%
②事業者が見つからない	8	1.5%
③費用	30	12.7%
④そもそも町に戻るか迷っている	67	12.7%
⑤その他	107	20.2%
⑥特になし	280	52.9%
無回答	20	3.8%

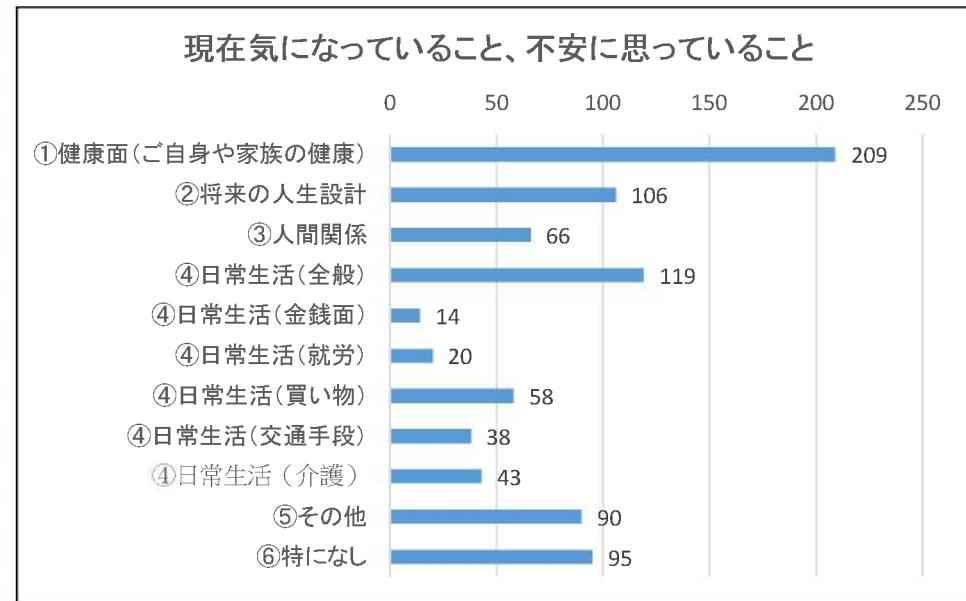
問 放射線に関し、特に気になっていることはありますか？  
(※複数回答可)

項目	人数	割合
①自宅内や自宅敷地の線量	172	15.8%
②山林や田畑の線量	133	12.2%
③食品への不安	156	14.3%
④飲料水への不安	313	28.7%
⑤個人が受ける被ばく線量	72	6.6%
⑥子供に対する影響	105	9.6%
⑦その他	39	9.1%
⑧特になし	99	9.1%



問 その他、現在気になっていること、不安に思っていることはありますか？(複数回答有)

項目	人数	割合
①健康面(ご自身や家族の健康)	209	24.4%
②将来の人生設計	106	12.4%
③人間関係	66	7.7%
④日常生活(全般)	119	13.9%
④日常生活(金銭面)	14	1.6%
④日常生活(就労)	20	2.3%
④日常生活(買い物)	58	6.8%
④日常生活(交通手段)	38	4.4%
④日常生活(介護)	43	5.0%
⑤その他	90	10.5%
⑥特になし	95	11.1%



## 町民への聞きとりのまとめ

○放射線の健康不安に対しては、水への不安が圧倒的に多いが、認識や不安の理由は異なっているように感じられる。

会津方面に避難している町民

- ・木戸ダムの水は安全か？
- ・木戸ダムの水は安全だと思っているが、気持ちの上で安心できない。
- ・木戸川の水は飲まない。
- ・大丈夫と言っても、飲まない。
- ・檜葉の水道水は、どうしても飲むことができない。
- ・水道管のさびも気になる。

いわき市内に避難している町民

- ・安全と分かっているけど気持ちが納得いかない。
- ・ダムの除染をしてもらわないと困る。安心できない。
- ・木戸ダムの水を安心して飲めるようにしてほしい。安全と言われていても不安。畑があっても作って食べることができない。
- ・木戸川が汚染されてるので個人的ではないですが飲み水の除染できる器具をつけて欲しい。

○家の周りや家の中の線量、食品検査もしたことがない人が多い。特に会津に避難している方に多い。

○檜葉町に帰町するうえでの不安や悩みは、放射線の不安もあるが、買い物や医療などの日常的な整備ができていないことに対しての声も多い。